

社会産業理工学研究交流会へようこそ！

～知る・感じる・そして共創へ～

大学院社会産業理工学研究部長

山 中 英 生

令和7年度社会産業理工学研究交流会を開催いたします。研究交流会は多様な研究成果を社会に公開、理解を深めていただくとともに、学内外の研究交流、産官学連携の推進を目的としています。皆様の多々のご協力で、令和7年度も大学院社会産業理工学研究部と徳島大学関係組織が一堂に集まる貴重な会を開催できることに、心から感謝申し上げます。

特別講演として、東京科学大学情報理工学院の小野功教授をお迎えし、「進化計算によるブラックボックス最適化 ～人と共創するAIの実現へ向けて～」と題した講演をいただきます。

若手研究者の部では、社会総合科学域・理工学域・生物資源産業学域から選出された11名の方のプレゼンテーションをお願いしました。ポスターセッションの部では、徳島大学創成科学研究科博士後期課程の学生さん7名に加えて、阿波銀行学術・文化振興財団研究助成採択者、先端理工学教育研究プロジェクト採択者、常三島キャンパスの各関連研究所・センター、さらには学外から県立工業技術センター、香川大学の方々をお迎えし、計46人の方々に参加をいただきました。また、若手研究者、ポスター発表の表彰者を選定する評価委員として、産学連携に協力いただいている企業から7名の方々に参加いただいております。

以上のご協力者・参加者の方々、さらには、企画から始まり、会場の準備を担っていただいた研究推進委員会委員、事務局など、多くの方々のご協力を深く感謝いたします。さらに、今年度は、四国経済連合会、公益財団法人とくしま産業振興機構のご後援をいただきました。重ねて感謝申し上げます。

この催しが、本学教職員、学生、大学院生はもとより、学内外連携機関や企業の方々にとって、多様な大学での取り組みを知り合い、また人となりを感じ、ひらめきや協働を創造する「共創の場」となることを期待しています。